

2019年3月期
決算報告
(連結ベース)

2019年5月15日

東芝機械株式会社

東芝機械

(成形機、工作機械、その他)

国内製造販売会社 2社

(工作機械、その他) **不二精機製造所**
(その他) **東栄電機**

国内販売・サービス会社 他 3社

(成形機、その他) **東芝機械エンジニアリング**
(その他) **芝浦セムテック**
(その他) **芝浦産業**

赤い枠内は連結各社

(持分法適用会社) **1社**
ニューフレアテクノロジー

(非連結子会社)
海外販売会社 **7社**
その他出資先 **1社**

海外製造会社 3社

(成形機)

TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE LIMITED

海外販売・サービス会社 6社

(成形機、工作機械、その他)

SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA
(成形機、工作機械)
TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA PTE.LTD.
(成形機)
TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE HONG KONG LTD.

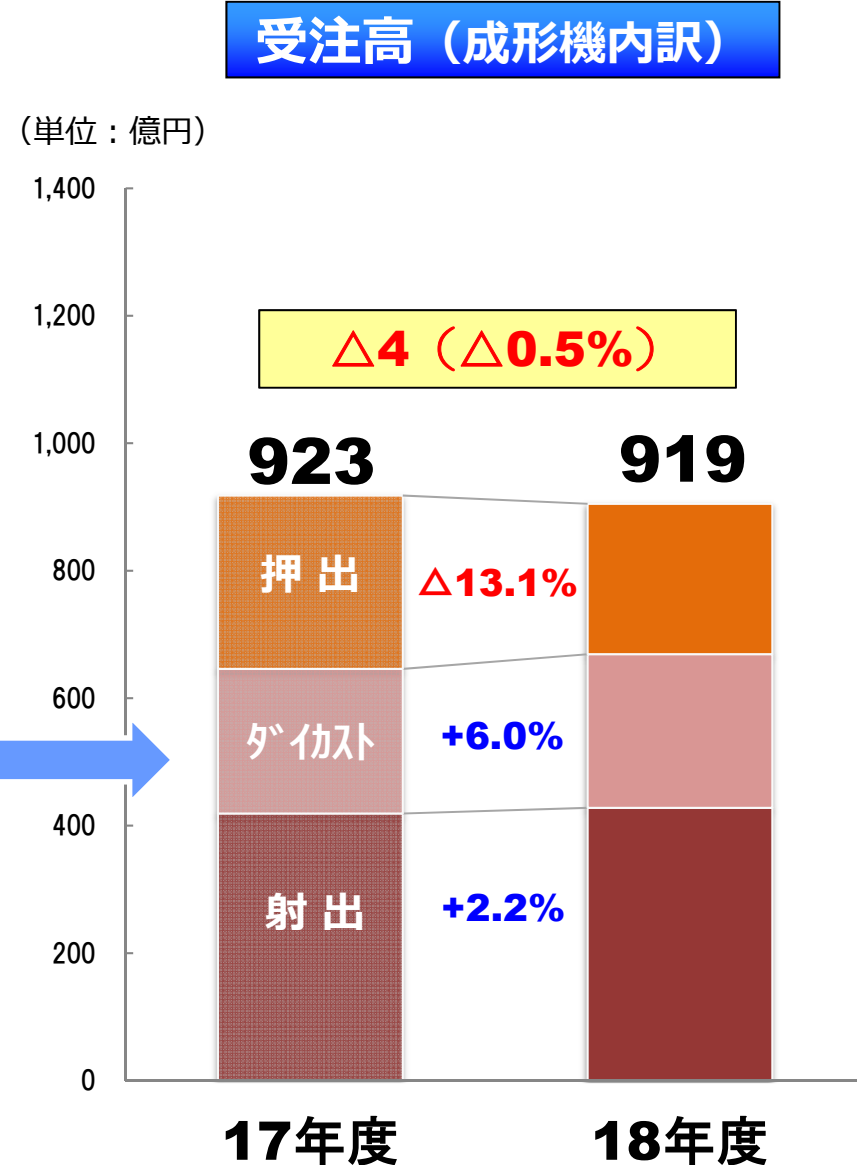
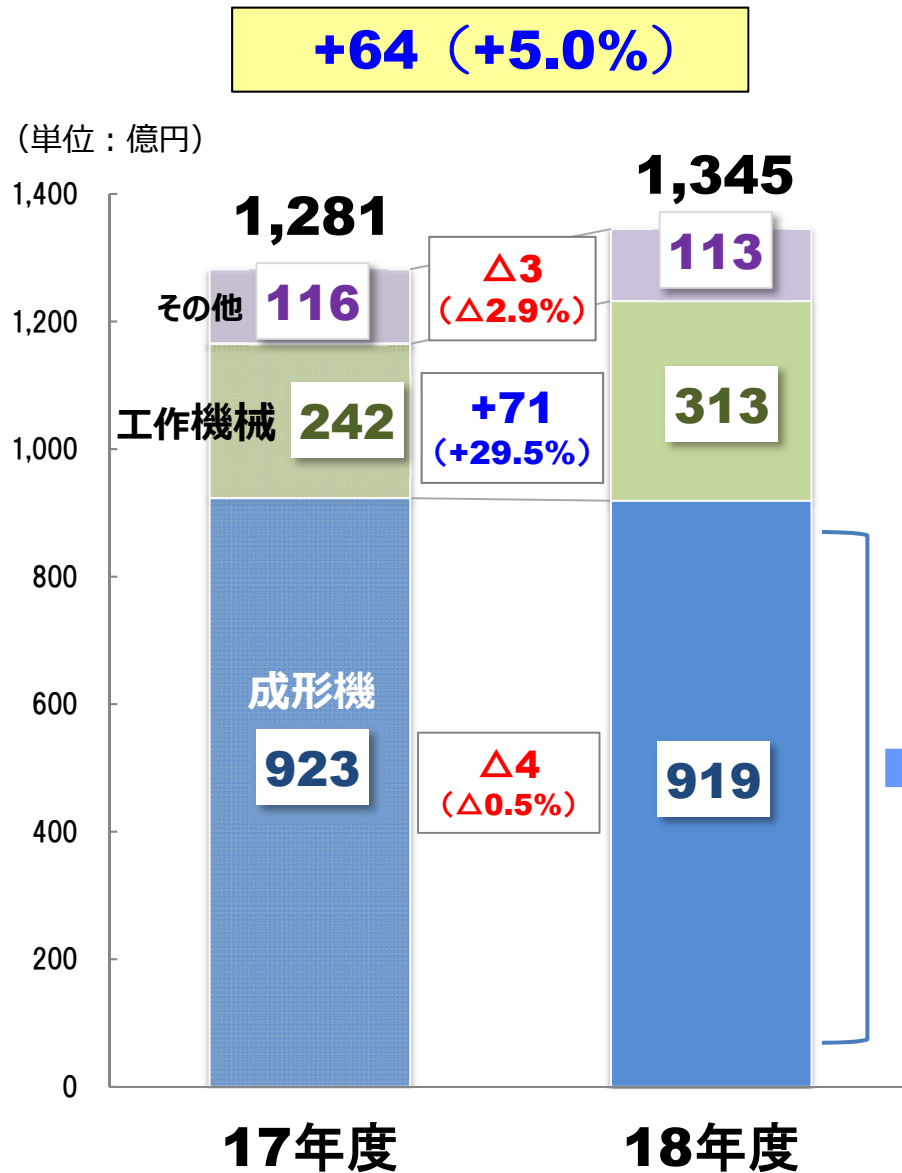
2019年3月期
決算概要
(連結ベース)

(単位：億円)

	2018年度	2017年度	増減	2018年度 公表予想 (2018/11/7公表値)
売上高	1,174	1,169	+5	1,220
営業利益	38 3.3%	46 4.0%	△8 △0.7%	40 3.3%
経常利益	56 4.7%	70 6.0%	△14 △1.3%	54 4.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	41 3.5%	50 4.3%	△9 △0.8%	40 3.3%
受注高	1,345	1,281	+64	1,350
為替レート (USD)	111 円	106 円		108 円

受注高 (セグメント)

5

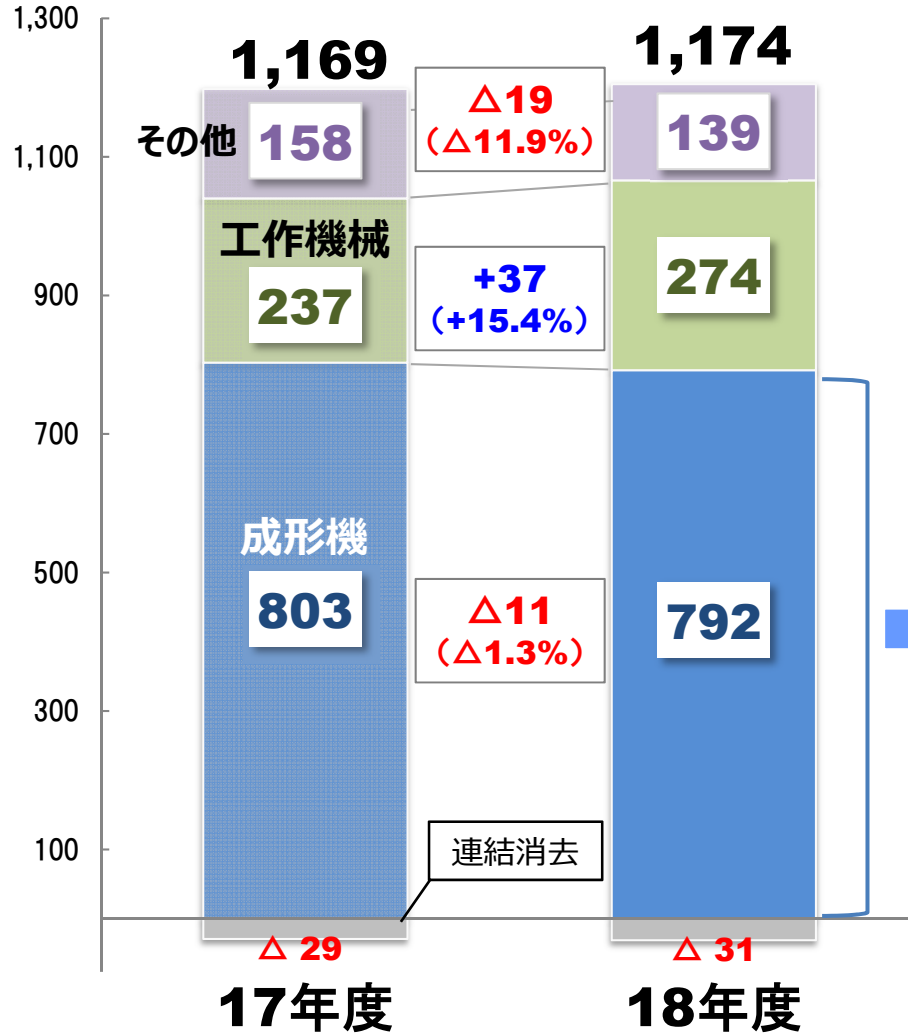


売上高 (セグメント)

6

(単位：億円)
※連結消去後

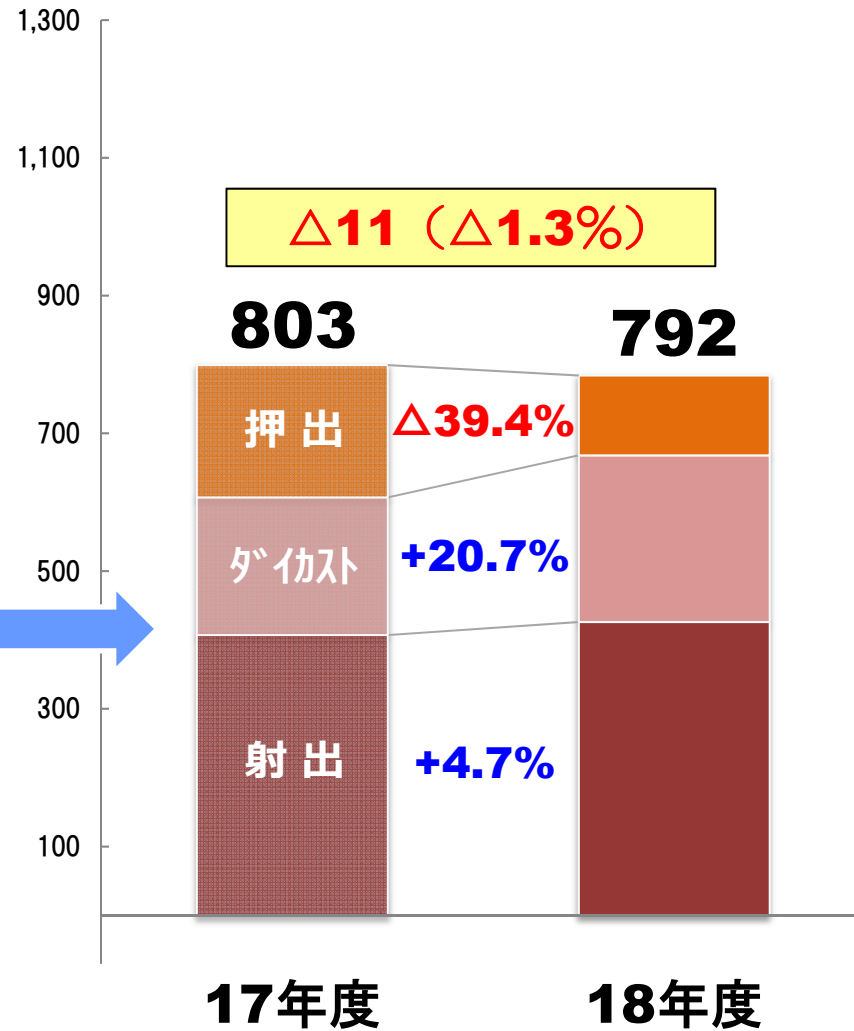
+5 (+0.5%)



(単位：億円)
※連結消去後

売上高 (成形機内訳)

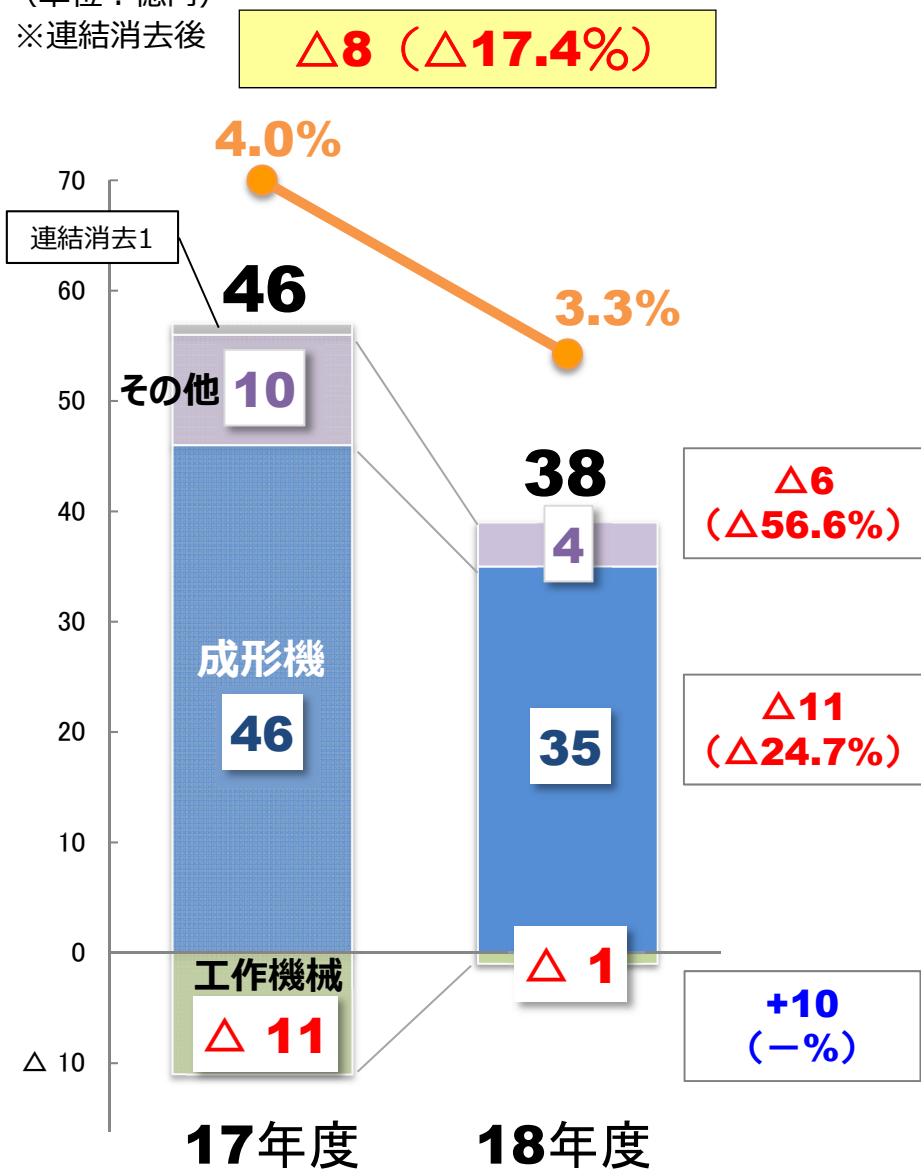
△11 (△1.3%)



営業利益 (セグメント)

(単位：億円)

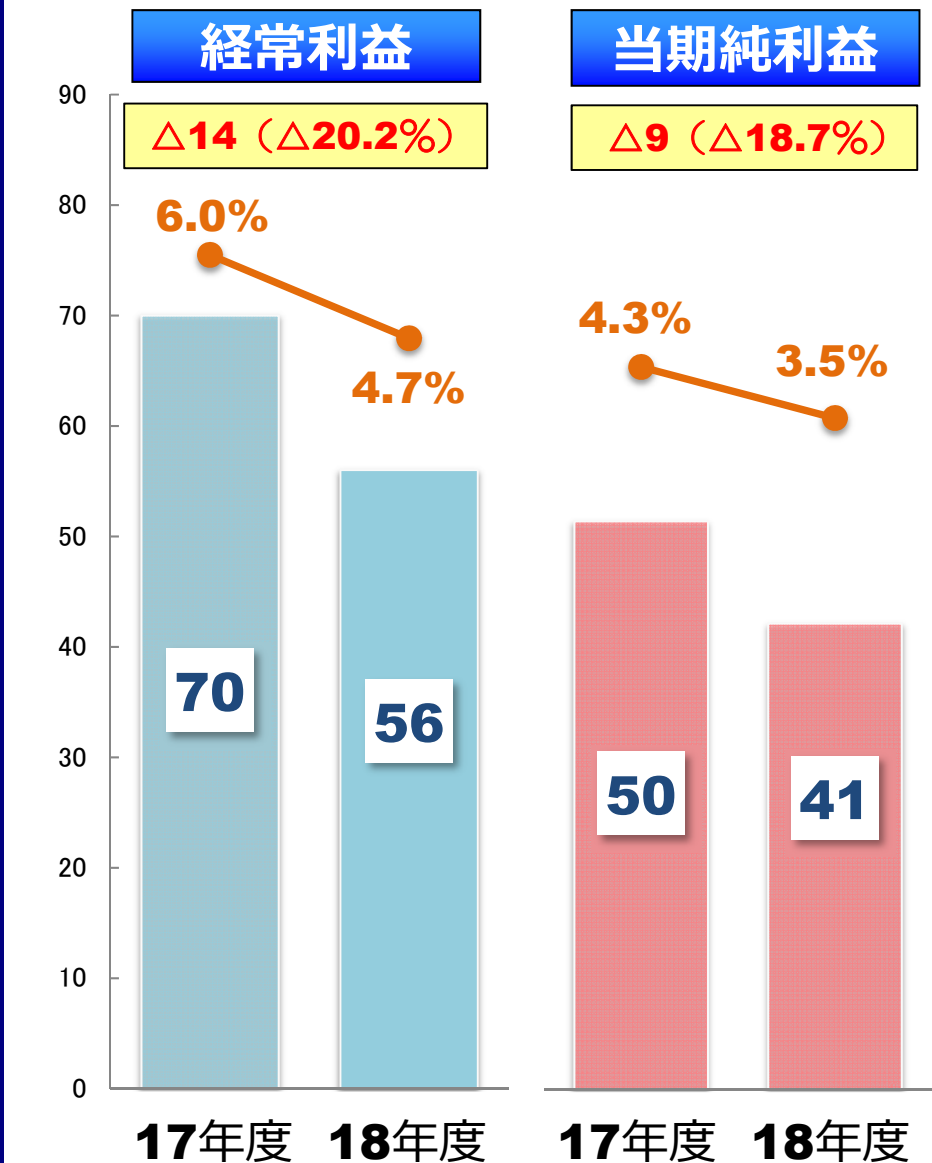
※連結消去後



経常利益・当期純利益

7

(単位：億円)



(成形機) セグメント業績

8

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2018年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	792	803	△11	△1.3%
営業利益	35	46	△11	△24.7%
利益率	4.4%	5.8%	△1.4%	

2018年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド自動車・家電業界向け内需堅調
- 【DC】2輪およびEV関連向け需要が好調
- 【押出】光学フィルム向け需要の堅調継続



ネガティブ・ファクター

- 【射出】国内自動車関連顧客に慎重姿勢
- 【DC】内燃機関自動車向け需要が低調
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の停滞継続
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞

(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2018年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	274	237	+37	+15.4%
営業利益	△1	△11	+10	—
利益率	△0.5%	△4.8%	+4.3%	

2018年度 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【大型】国内建機・インド産機向け好調
- 【大型】北米航空機向け堅調・エネルギー関連向け復調
- 【精密】国内光学・自動車関連向け引き続き堅調

-

ネガティブ・ファクター

- 【大型】国内半導体・鉄鋼・重電向け低迷
- 【精密】スマートフォン販売減少により一部引合進捗が鈍化傾向
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞
- 部材調達難・価格上昇は改善傾向にあるも一部特殊部品は継続

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2018年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	139	158	△ 19	△ 11.9%
営業利益	4	10	△ 6	△ 56.6%
利益率	3.1%	6.3%	△ 3.2%	

2018年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 国内向けサーボモーターの販売好調
- 主要部材の調達難は改善傾向



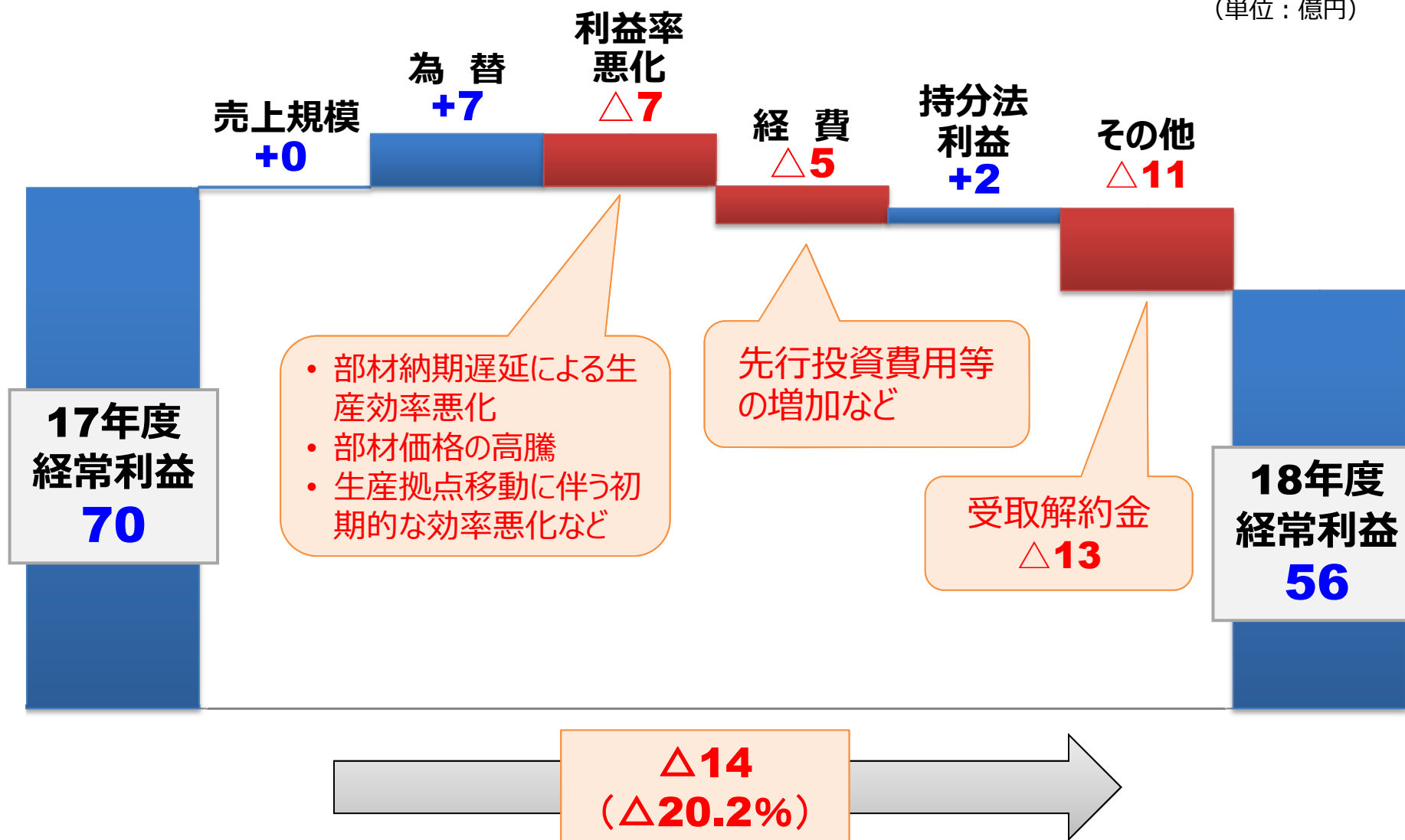
ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向けロボット需要の停滞継続
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞
- 特殊大型機の減少

経常利益分析

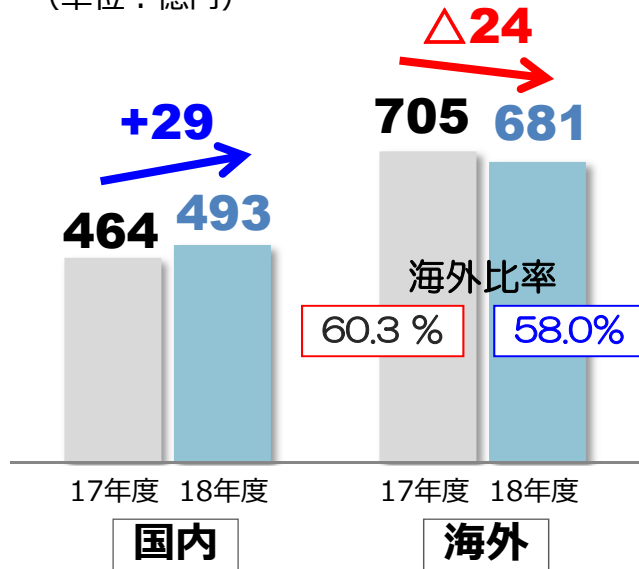
11

(単位：億円)



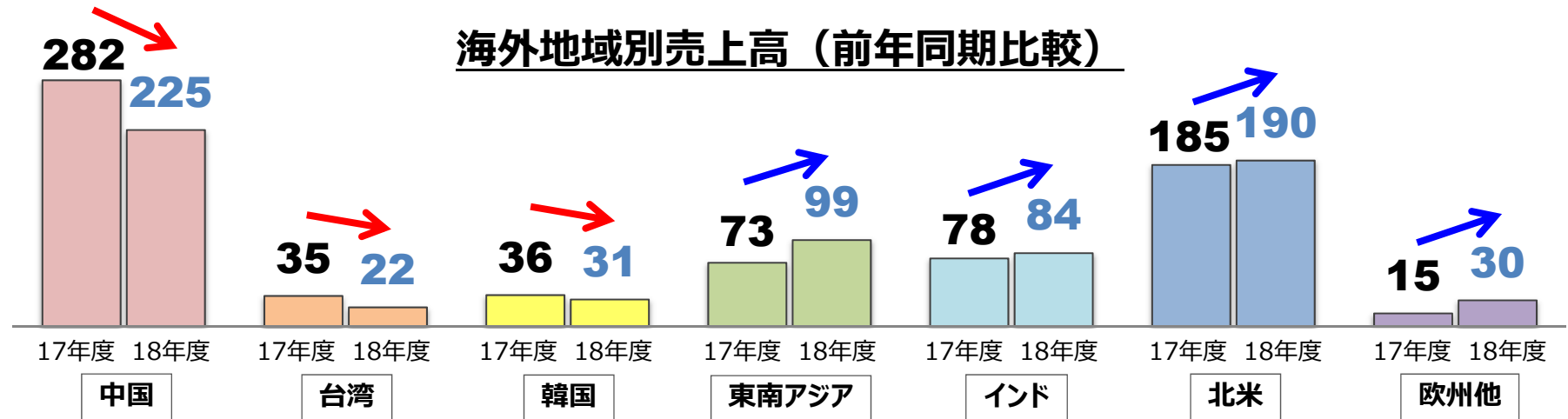
国内・海外売上高（前年同期比較）

(単位：億円)



	国内	中国	東南ア	インド	欧米
射出	減少	減少	増加	増加	増加
D C	増加	増加	増加	減少	前年並
押出	増加	減少	増加	—	—
工作	増加	増加	増加	—	減少

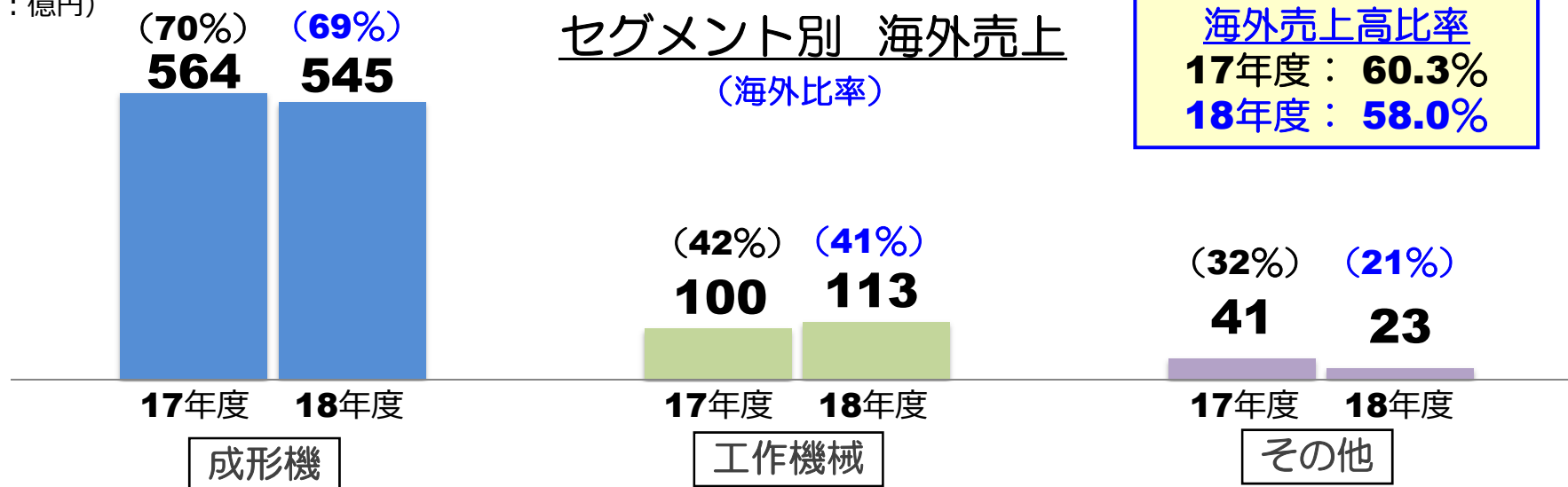
海外地域別売上高（前年同期比較）



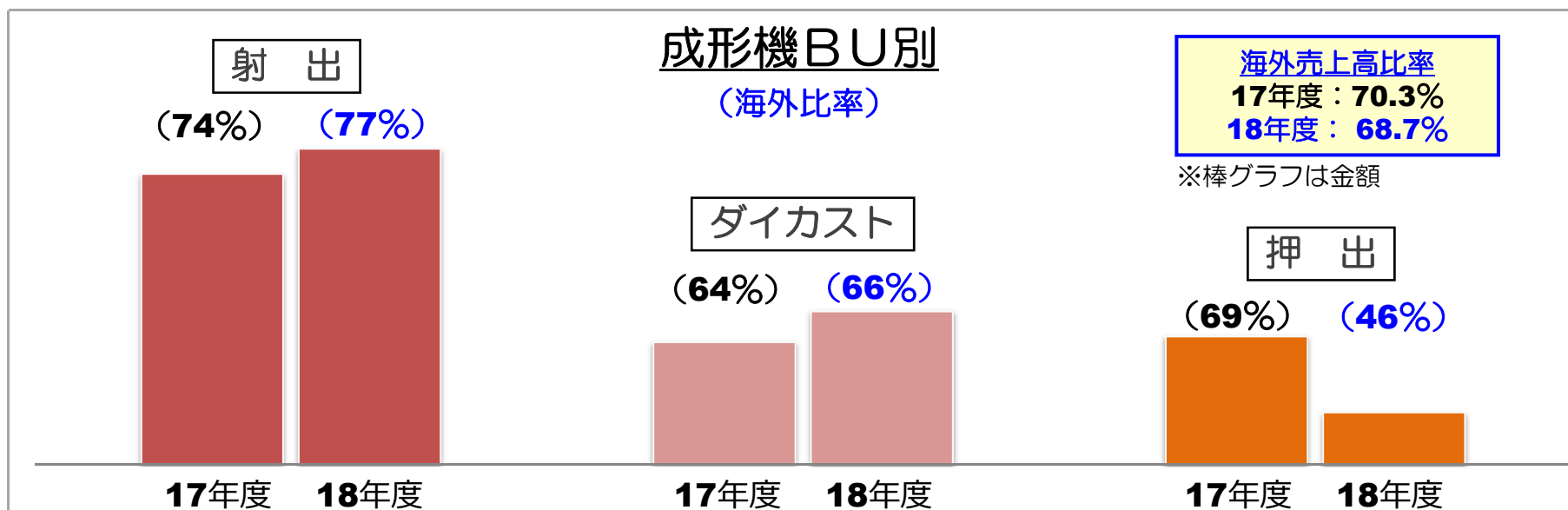
海外向けの売上高・比率（セグメント別）

13

(単位：億円)



海外売上高比率
 17年度：60.3%
 18年度：58.0%

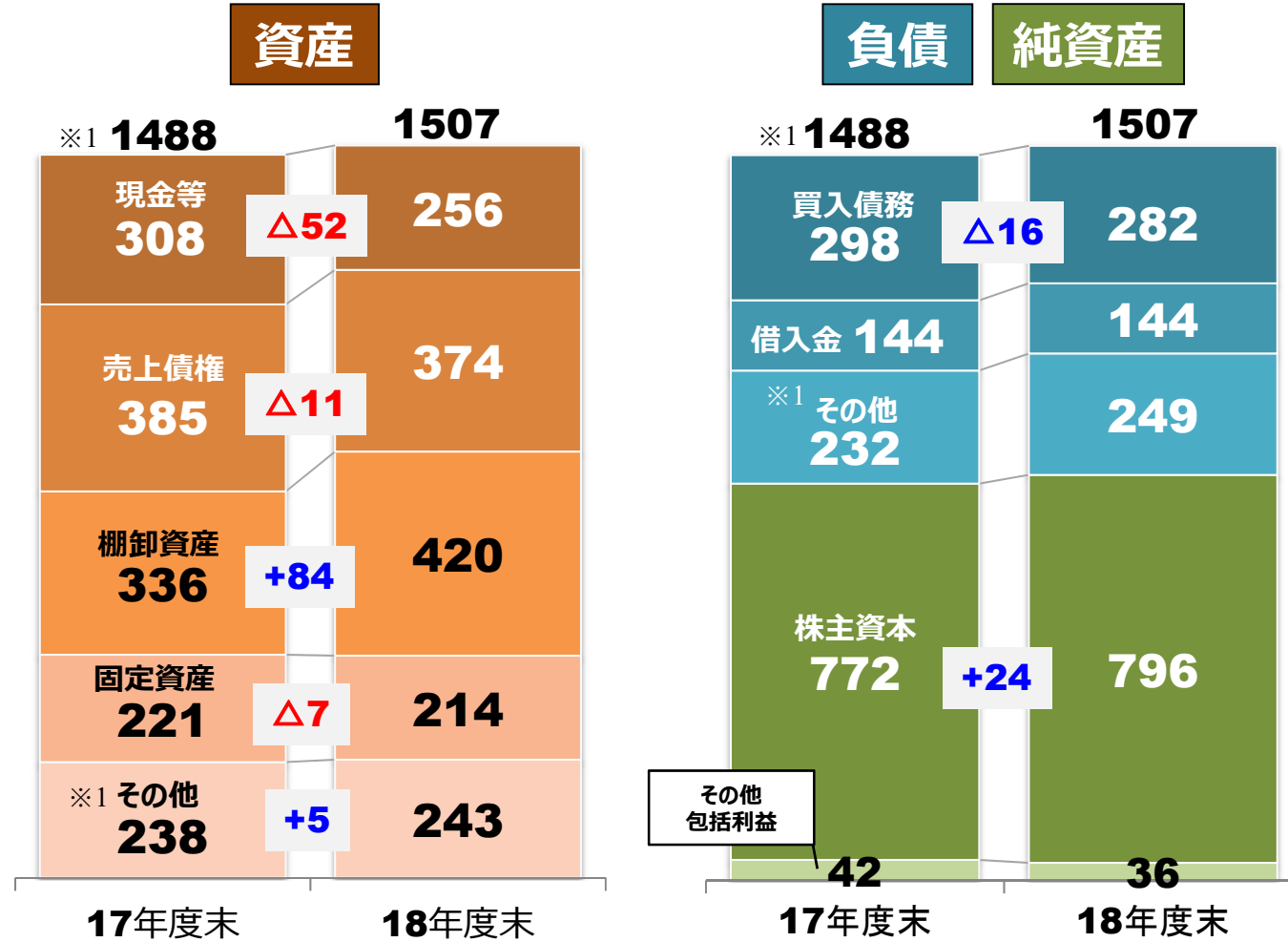


海外売上高比率
 17年度：70.3%
 18年度：68.7%

※棒グラフは金額

貸借対照表

(単位：億円)



	18/3月末	19/3月末
自己資本比率	※1 54.7%	55.2%
D / E 比率	※1 17.7%	17.3%
総資本回転率 ※2	0.81 回転	0.78 回転

※1 税効果会計基準の改正により遡及修正
 ※2 期首・期末の平均を使用

キャッシュ・フロー計算書

15

17年度

+7

(単位：億円)

FCF +29

+68

固定資産取得 △32

△ 39

△ 21

営業C/F

投資C/F

財務C/F

18年度

△52

FCF △37

税引前利益 57
 売上債権減少 11
 棚卸資産増加 △83
 仕入債務減少 △17
 前受金増加 +27
 法人税支払 △19

配当金支払 △17

△ 22

△ 15

△ 18

営業C/F

投資C/F

財務C/F

	17年度	18年度	増 減
現金及び同等物 期首残高	301	308	7
営業活動によるC/F	68	△ 22	△ 90
投資活動によるC/F	△ 39	△ 15	24
財務活動によるC/F	△ 21	△ 18	3
計	8	△ 55	△ 63
換算差額 他	△ 1	3	4
現金及び同等物 期末残高	308	256	△ 52

2020年3月期
業績予想（連結ベース）
配当予想

1. 取り巻く外部環境

項目	ポジティブ・ファクター	ネガティブ・ファクター
成形機セグメント 射出成形機 ダイカストマシン 押出成形機	自動車向け中心にインドの需要堅調 国内・北米・東南ア向け需要堅調 光学フィルム向け需要拡大	北米・東南ア向け受注が様子見状態 中国向け自動車関連需要が低迷
工作機械セグメント	大型機の国内・東南ア需要復調 北米航空機・エネルギー向け復調 自動車・光学向け需要の伸長継続	国内産機向け需要の回復遅れ スマートフォン市況停滞により中国向け鈍化
全般	EV含む自動車関連向け需要の拡大 光学関連向け需要拡大	部材価格高騰・一部特殊部品の長納期化が継続 通商問題長期化による中国市況の悪化

2. 概要

(1) 施策

- 事業収益性向上 : 「機械メーカーの総合力」を活かした社内プロセス改革
- 経営体質強化 : 「収益性重視」への変革・成長のための投資強化
- ブランド力強化 : 新ブランドの醸成・「価値共創メーカー」への進化

(2) 業績見込 (前期比)

部材調達難の緩和、工作機械等基幹事業の収益性改善により**増収増益**

(単位：億円)

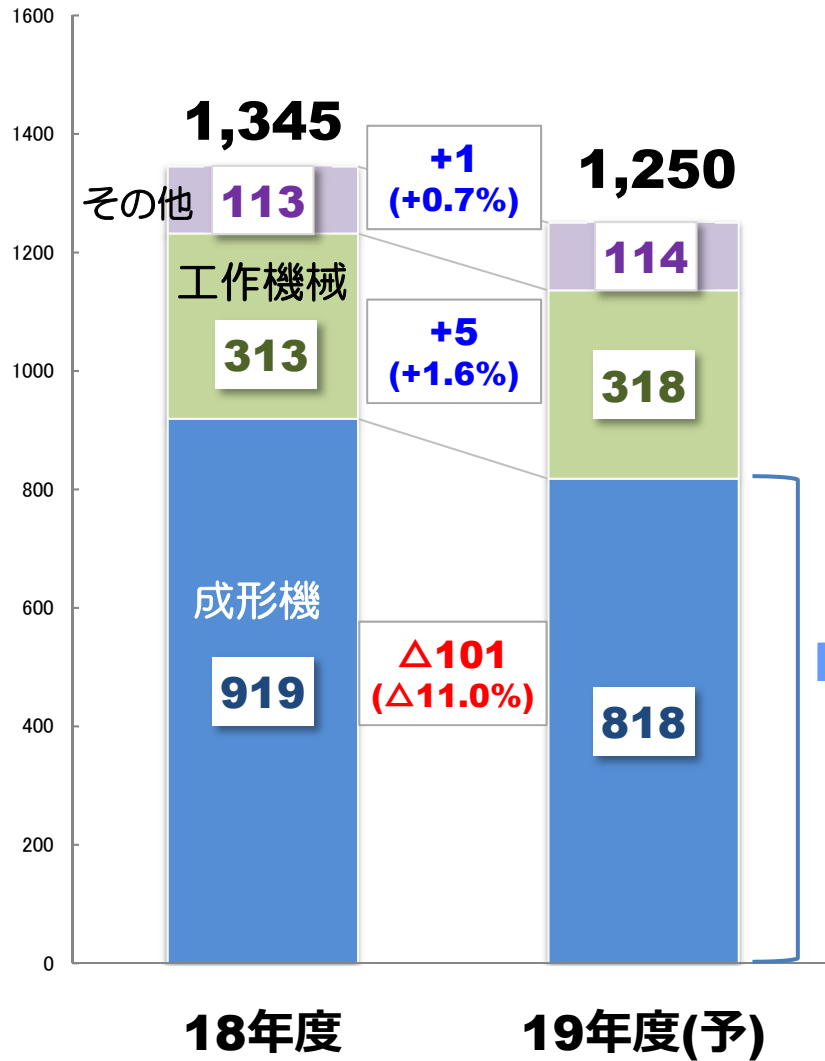
	2019年度 予想	2018年度 実績	増 減
売 上 高	1,220	1,174	+46
営 業 利 益	53 4.3%	38 3.3%	+15 +1.0%
経 常 利 益	63 5.2%	56 4.7%	+7 +0.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	44 3.6%	41 3.5%	+3 +0.1%
受 注 高	1,250	1,345	△ 95
為替レート (USD)	105 円	111 円	

受注高 (セグメント)

19

(単位：億円)

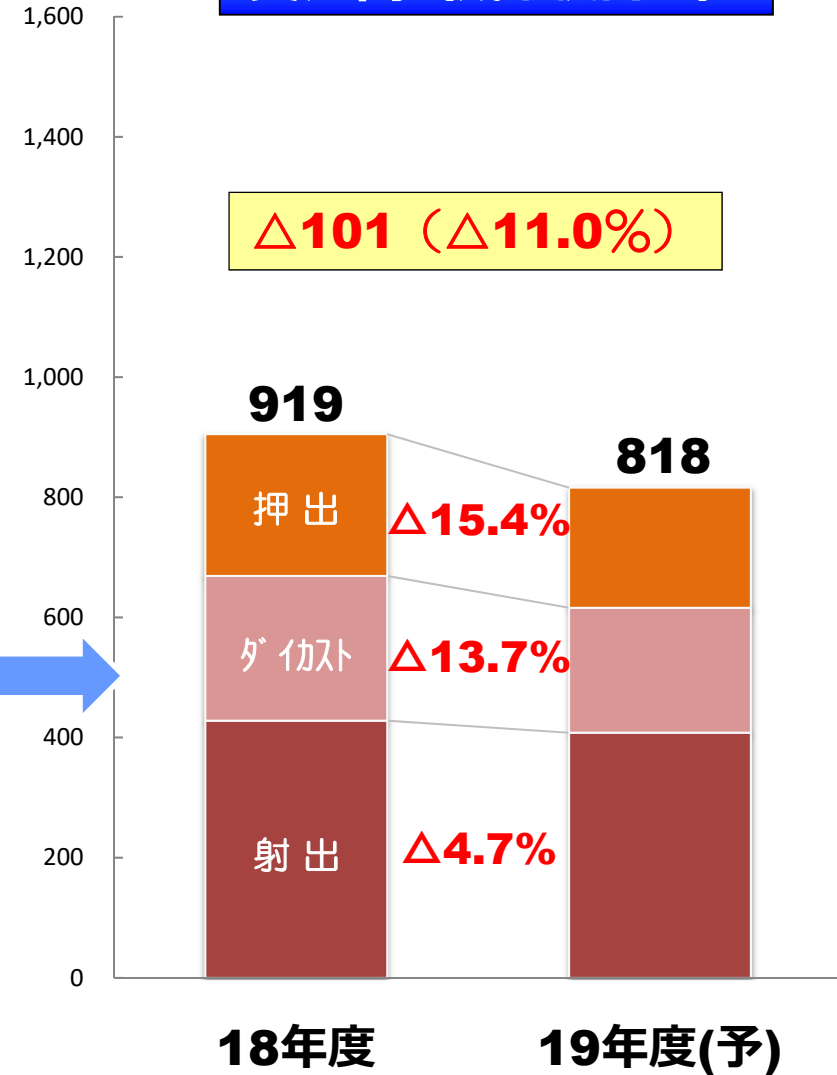
△95 (△7.1%)



(単位：億円)

受注高 (成形機内訳)

△101 (△11.0%)

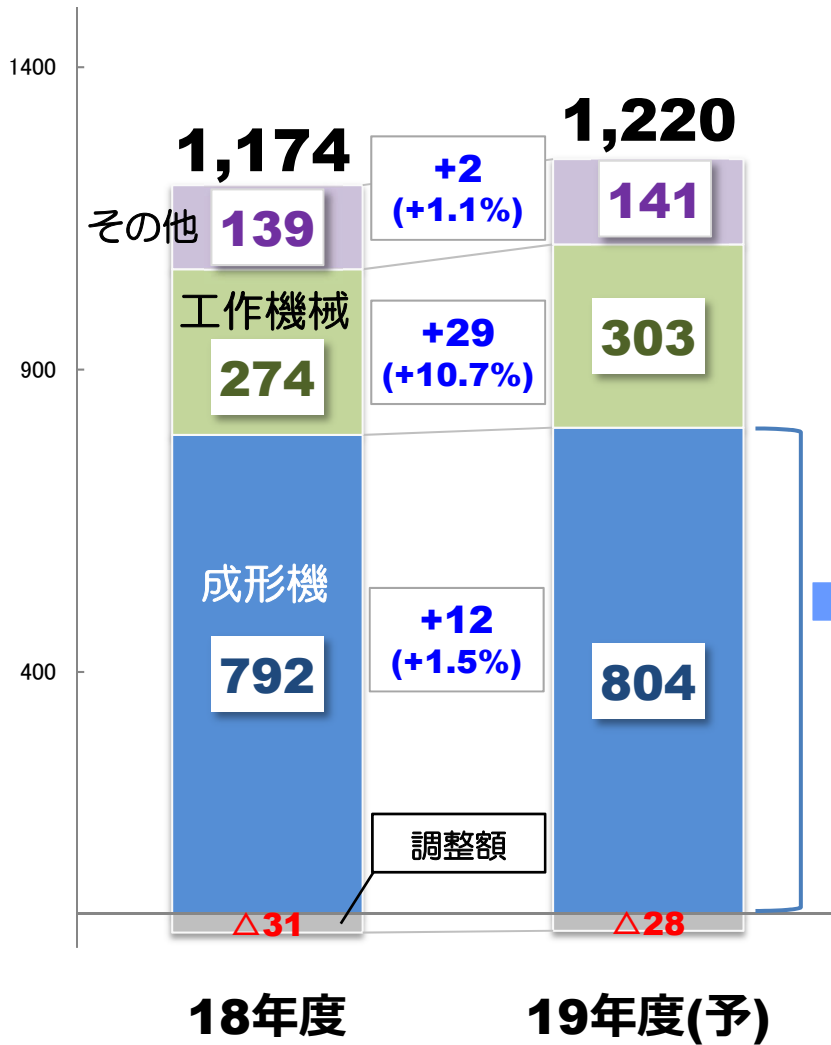


売上高 (セグメント)

20

(単位：億円)
※連結消去後

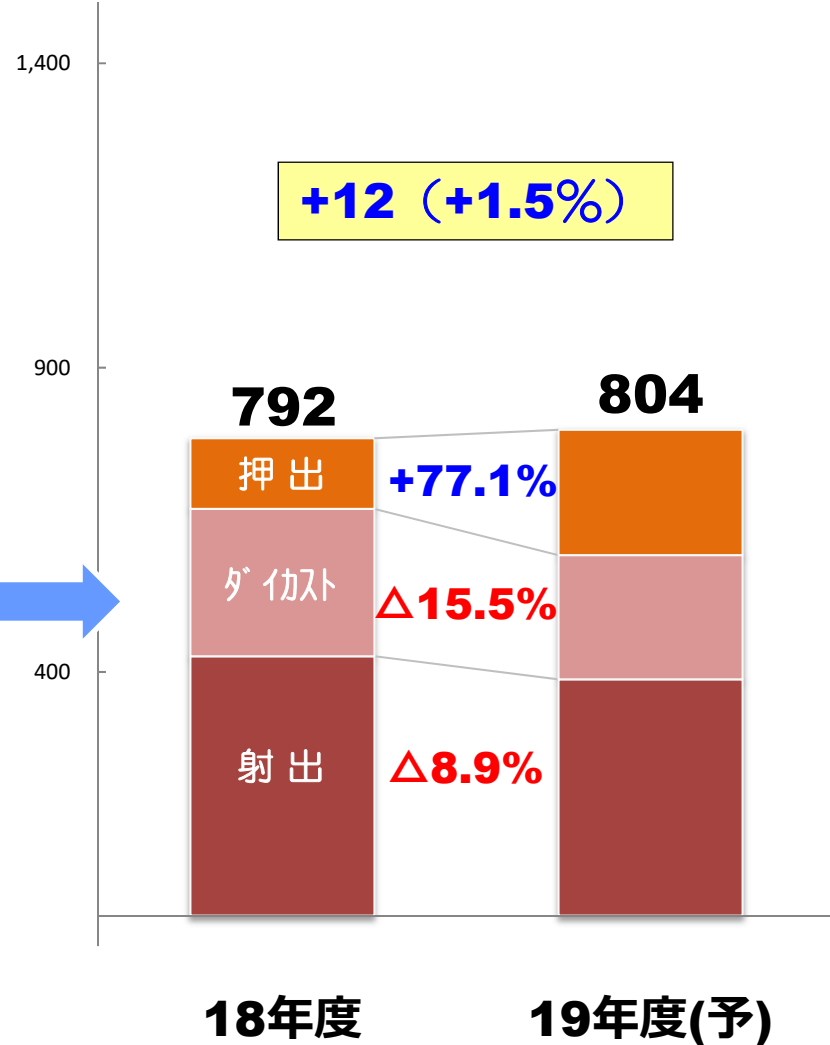
+46 (+3.9%)



(単位：億円)
※連結消去後

売上高 (成形機内訳)

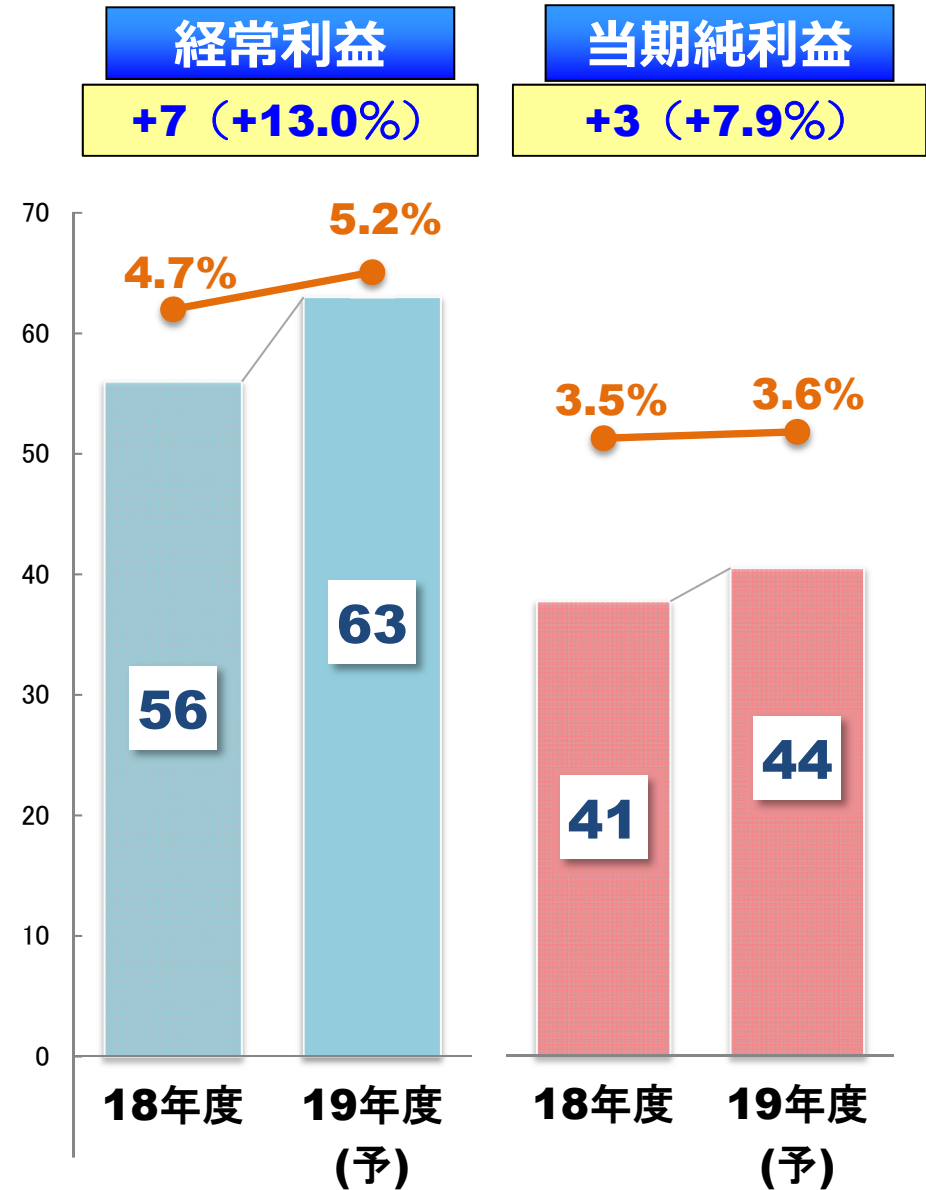
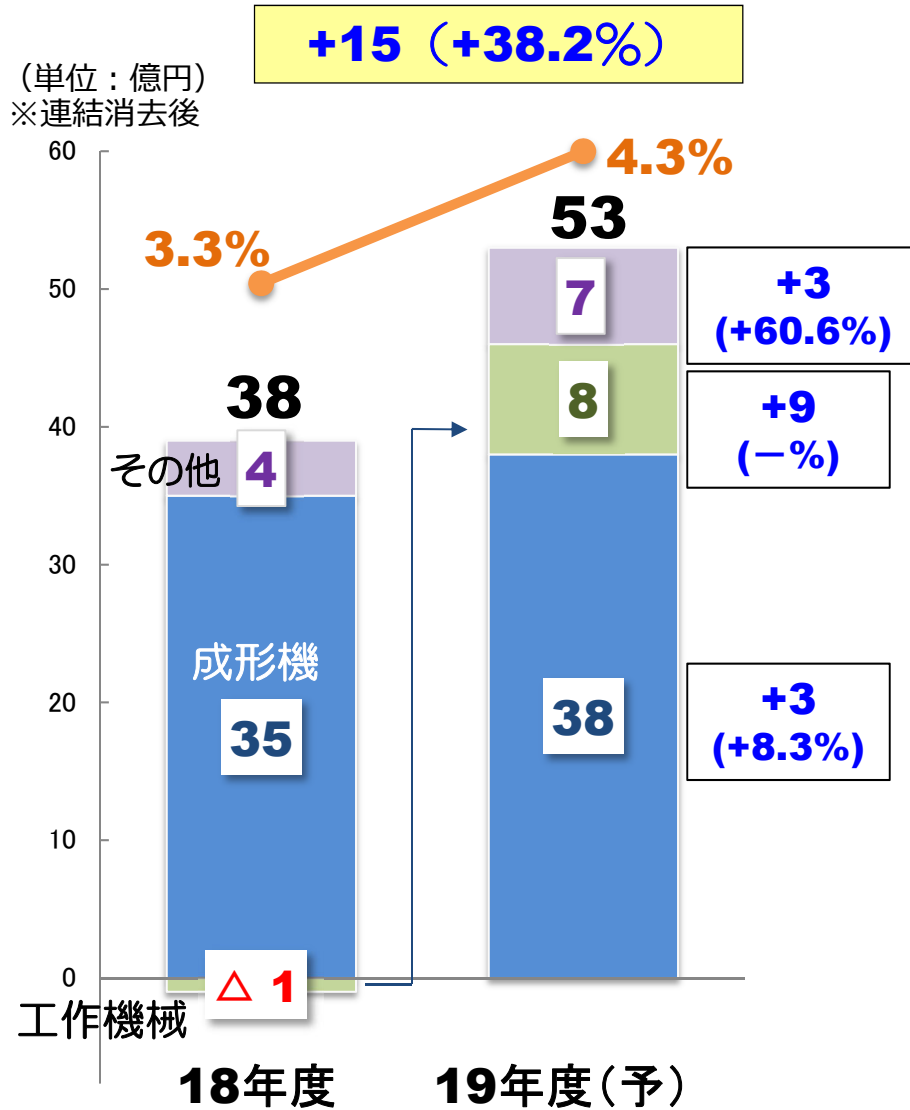
+12 (+1.5%)



営業利益 (セグメント)

経常利益・当期純利益

21



(成形機) セグメント業績予想

22

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	804	792	+12	+1.5%
営業利益	38	35	+3	+8.3%
利益率	4.7%	4.4%	+0.3%	

2019年度 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド販売好調・インド工場の生産能力拡大
- 【D C】EV関連向け需要が好調
- 【押出】光学フィルム向け需要が堅調
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が一部解消

-

ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米受注環境の悪化
- 【射出】貿易摩擦による国内大手顧客の設備投資停滞
- 【D C】中国・韓国の受注環境悪化

(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	303	274	+29	+10.7%
営業利益	8	△1	+9	—
利益率	2.6%	△0.5%	+3.1%	

2019年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【大型】建機向けの好調継続
- 【大型】北米航空機・エネルギー向け復調継続
- 【精密】自動車用含む光学金型向け需要が堅調



ネガティブ・ファクター

- 基幹部品価格の上昇・調達の長納期化継続
- 半導体・鉄鋼等、国内産機の需要停滞継続
- スマートフォン販売低迷による設備投資停滞

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	141	139	+2	+1.1%
営業利益	7	4	+3	+60.6%
利益率	5.0%	3.1%	+1.9%	

2019年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 国内向けサーボモーターの販売堅調
- IoT活用による商品ラインナップ拡充
- 省人化・省力化に向けての需要拡大
- システムエンジニアリング事業による利益拡大



ネガティブ・ファクター

- 東アジアのスマートフォン・EMS向けロボット需要の停滞

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的发展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2018年3月期	7 円 00 銭	7 円 00 銭	14 円 00 銭	33.7%
2019年3月期	7 円 50 銭	※1,2 37 円 50 銭	※2 —	44.4%
2020年3月期 (予想)	※3 42 円 50 銭	※3 42 円 50 銭	85 円 00 銭	46.6%

※1 2018年10月1日に実施した株式併合の影響を考慮しております。

※2 株式併合考慮前に換算した2019年3月期 期末配当は7円50銭、年間配当は15円00銭となります。

※3 2020年3月期（予想）の第2四半期末および期末配当には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 総務部

T E L : 055-926-5141

F A X : 055-925-6501

URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>